

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
安部 敏樹	あべ としき	一般社団法人リディラバ/株式会社Ridilover	<p>■社会課題・地域課題をテーマとしたスタディツアーを企画しあらたな市場を開拓。                  ■被災地での教育旅行をした復興支援(例:釜石での被災後初の100人規模での教育旅行など)。                  ■安倍首相が座長を務める観光立国推進会議での「アクションプログラム2015」として政策化。                  (11)国民の旅行振興に向けた意識醸成・環境整備”の項目において「若者に旅の意義や素晴らしさを伝える「若旅★授業」を地方で拡大するとともに、若者の関心が高い、エネルギーや地域医療など様々な社会テーマを扱ったツアー商品の造成を推進し、より多くの若者が旅に出るきっかけを創出する。【新規】」という形で記載。                  ■観光から移住定住・産業振興・事業承継・MICE誘致を一貫して実現(例えば林業のツアーを通して5人の事業承継・移住の実現など。これまで20人以上がツアーを通しての移住や2拠点居住を実現したと思われる)。                  ■600人以上のボランティアマネジメントを通しての課題の洗い出し。                  ■社会起業家の経営者向けカンファレンスR-SIGを300人規模で3年連続開催。京都・つくばなどの地域開発に寄与。                  ■東大の講義にて200人の学生に対し、ソーシャルビジネスのためのチームビルディングなど講義から30以上のプロジェクトを創出。講義をまとめた著作『いつかリーダーになる君たちへ』(日経BP)がAmazonで部門別1位を達成。                  ■被災地の医療現場における鍼灸師などを含めた新たな医療チーム体制の構築と実施・                  ■R-SIGにおける「ソーシャルビジネスのプログラム”CrossPoint”」、観光庁研修、青森県研修、スタディツアーなどを通して100地域150社以上のインキュベーション支援。                  ■述べ20校以上の教育旅行の実施。                  ■スタディツアーなどの事業を通して扱うテーマは「農・林・水産業」「環境」「医療・介護・福祉」「貧困」「地域活性化」「公共事業」など200弱。                  ■東証一部上場企業なども含め企業の幹部研修や人事研修としての地域課題・社会課題の現場での研修事例も10以上                  ■アカデミックなアクティブラーニング、ファシリテーションの講義などを東京大学などの大学教員から各地の教育委員会や校長向けに実施                  【リディラバの事業に関連するURL】                  [Travel The Problem:スタディツアー専門の旅行サービス]  <a href="https://traveltheproblem.com/">https://traveltheproblem.com/</a>                  [TRAPRO:社会問題の百科事典]  <a href="http://www.trapro.jp/">http://www.trapro.jp/</a>                  [TRAPRO移住ロコミ:地域の気になるロコミが集まるサイト]  <a href="https://iju.trapro.jp/">https://iju.trapro.jp/</a>                  [「社会起業」の最先端を知る]招待制カンファレンス:R-SIG(アール・シック)]  <a href="http://ridilover.jp/R-SIG/">http://ridilover.jp/R-SIG/</a>                  [リディラバ(HP)]  <a href="http://ridilover.jp/">http://ridilover.jp/</a></p>
雨宮 洋司	あめみや ようじ	みなとガイド塾	<p>①富山新港を中心に付近の歴史あるみなとまちの現状と歴史の絵地図をそこに居住する市民とともに学んで、作成をし、散策、地域おこし、郷土学習等に役立てる取り組みをしている。                  ②”みなとガイド塾”を立ち上げて、それらの絵地図を教材にして学ぶとともに、港背後地の企業・団体の訪問、北前船時代のみなとまちを歩いて歴史の痕跡を探しながら現状を知る、等を通して、この地への訪問者や家族などに説明(ガイド)出来るような学生・市民を育てる活動をしている。これはこれからの日本海側の新しいみなとまちづくりを考える契機にする配慮をしており、NPO法人水辺のまち新湊と組んで実施して継続性を意識している。</p>
生重 幸恵	いくしげ ゆきえ	特定非営利活動法人 スクール・アドバイス・ネットワーク	<p>この法人は、「学校教育支援における地域活性化」を目的とする数少ない団体として、注目をされた活動を行なっている。出発時活動の中心は杉並区教育委員会との協働であり、杉並区とは現在も連携を持っている。また、平成15年からは、東京都内各区の教育委員会とも連携したり、さらには全国各地での「学校支援」「地域活性化」のプロジェクトに参画したりして、活動の範囲を広げている。一方、企業の教育支援活動の推進にも助力し、社員研修やフォーラムなどを通して、教育貢献の必要性とその方法などについてアドバイスし、企業の持っているノウハウを学校授業に繋げるためのプログラム作成なども手がけている。</p>
池上 文雄	いけがみ ふみお	千葉大学 環境健康フィールド科学センター	<p>・地域貢献支援事業の一環として、各地の自治体の市民向け薬草講座などで、市民参加型で身の回りの身近な薬草探索などを実践。                  ・科学技術振興機構主催のサマー・サイエンスキャンプを開催して全国の高校生を対象に漢方と薬草の実践講座、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の高校生を対象に教育研究指導などを実践。                  ・東日本大震災の復興と漢方薬資源植物の国産化推進の一環として、福島県、宮城県を中心に産官学連携の会津人参や当帰等の薬草栽培を通じた地域産業活性化の推進を支援。                  ・「漢方と薬草」をキーワードとした「夏休み薬草教室」「地域力向上支援事業」などの効果的な協働や共創を生み出し、また、内発的な活動を支援するための情報発信などを実践。</p>
石山 純恵	いしやま すみえ	(株) クリフ	<p>地方銀行や総合病院での管理職研修などを行っています。講義をして「良かった」だけの研修ではなく見える研修、数値化する研修を企画実施しています。福島県を取り巻く状況で国際機関との会議の議事録作成や翻訳等を行っています。自らの起業で女性の雇用を創出し女性の生きがい作りに寄与してと思っています。今後も女性の活躍、女性の創業を支援していきたいと思っています。平成26年5月に、ノルウェー大使館、仙台市、仙台男女共同参画センター主催の東北の復興を担う女性リーダーノルウェー視察研修に福島県代表として参加する。</p>
井上 拓磨	いのうえ たくま	HanaLab./一般社団法人ループサンパチ	<p>2012年に長野県上田市に長野県初となるコワーキングスペースHanaLab.を開設。現在は上田市内に3店舗有し、総床面積1000坪の日本最大規模のコワーキングスペースを運営している。また、単純なコワーキングスペースにとどまらず、全国的にも珍しい、行政、商工会議所や経済団体と連携し様々な地域課題に取り組んでいる。</p> <p>&lt;主な取り組み事例&gt;                  ・空き店舗活用したコワーキングスペースを3カ所開設                  ・上田市・商工会議所・産学官コーディネーター組織と連携した創業支援                  ・インターンを活用した学生の社会との接点作り                  ・子育て中の女性の社会復帰支援                  ・移住定住に関する取り組み</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
井原 満明	いはら みつあき	㈱地域計画研究所	①衰退する地域の再生を図るために、ライフスタイルの価値観を変えるグリーンツーリズムと地域の資源を地域で生かすエコミュージアムの融合展開(着地型観光)。②高齢者の手仕事に光をあてた「マイスター」制度の創設(年金+α)。③高齢者が中心となって集落ワークショップを開催し、地域で高齢者を支えあう仕組みづくり(飯豊町で2009年～現在まで)。④ローカル線の活性化と沿線集落の再生を一体化し各駅を拠点に駅カフェの開催、駅から集落を巡るフットパスなどの地域づくり。⑤周辺地域(農村部)との連携を前提に住民参加協働型第3セクター「まちづくり会社」を設立(中心商店街活性化)。⑥2010年9月から長野県木島平村に招聘され農村文明塾の運営に取組む。首都圏等の学生との連携を図る農村版大学コンソーシアム、小規模自治体職員を対象に行政コンソーシアム、全国村長サミットの開催、住民の学び場「農村学講座」等を実施(～2015年3月)。⑦佐渡市が提唱する「福祉版コンパクトシティ」の取組助言。⑧高齢社会に向けて「複数の高齢者が一人の若者を育てる」を合言葉に団塊世代が築いてきた「暮らしと生業の小さな社会資本」を若者に譲り渡す社会を目指した地域づくりを提唱。
岩崎 徹	いわさき とおる	株式会社アイダ・アライアンス	①地域ビジネスの事業化支援:自ら地域での事業経験から、事業計画の策定、資金調達、マーケティング、PRなどを具体的にサポートし、資本参加して事業提携も行います。 ②地域コミュニティづくりの実践支援:地域活性化のきっかけとなるコミュニティ形成を、場やきっかけを地域住民とともにつくります。 ③地域人材の発掘と育成:地域を担う人材塾の総合プロデュースとワークショップのコーディネートなどを行います。(例:こしがや都市創造未来塾、行田みらい塾など) ④地域情報の発信:地域資源を発掘し、各種メディアで発信します。 ⑤マーケティング、PR支援:地域ビジネスのマーケティングやPR業務をサポートします。 ⑥地域事業に関するイベント等の講演、ファシリテーション、司会進行。
臼井 純子	うすい じゅんこ	オフィス・ウスイ/NPO法人日本風景街道コミュニティ	・地域活性化にかかわるさまざまな事業について、経営視点から事業の構築、プロモーション、継続的な運営手法についてアドバイスをおこなっています。 ・地域の資源「ひと、もの、金、情報」の有効な活用方法、人材発掘と育成など、その地域の特性を活かした地域活性化策(観光、産業振興、移住・交流など)を、地域の住民とともに、地域に根付くやり方で実施していくことを何より大切に、取り組んでいます。 ・地域の事業者の「家業」をどう「企業」まで底上げしていくか、経営のイロハについてわかりやすく指導・育成を実施しています。 ・地域リーダー、女性の起業化についての育成・指導・助言を行っています。
大宮 透	おおみや とおる	小布施町	小布施町では、特に、行政と地域住民、地域外の住民(特に若者)などの様々なアクターを繋ぎ、新しい価値を創造するための活動を展開している。プロジェクトをベースとして、議論の場をつくり、多様な視点を持ち寄って、若者をターゲットにしたまちづくりプロジェクトを企画。  2012年からは、全国から集まった200名の若者が日本の未来を語る場づくり「小布施若者会議」を企画運営するとともに、2013年には、ハーバード大学をはじめとする世界中の大学生とともに、高校生を対象としたサマーキャンプ「HLAB OBUSE」の企画運営をコーディネートしている。また、それらの取り組みを積極的に地域外に発信しながら、「若者が活躍できる町」としての小布施町のブランドづくりと、それを実現するための制度構築を行政と連携しながら推進している
岡田 昭人	おかだ あきと	早稲田大学都市・地域研究所／一般社団法人コミュニティネットワーク協会	埼玉県上尾市の密集住宅地再生事業においては連鎖型の共同建替の4プロジェクトに関わり、その後墨田区向島地区の密集住宅市街地でのまちづくり活動や鳥取市中心市街地での老朽化した防火建築帯のコンバージョン・リノベーションに向けた修復改善型の整備計画策定に携わっている。 近年は福祉、医療関係者と連携しながら、高齢者の住居・生活改善支援及びLLPやLLCを立ち上げ、住まいづくりの主体づくりの支援をしている。また社団法人コミュニティネットワーク協会が運営するコミュニティファンド研究会で、新しい市民ファンドの仕組みに向けて調査・研究、提案を行っている。 花巻市東和町では、商店主や高齢居住者が地域で支え合いながら暮らすための共同店舗や住まいづくりを様々な制度を活用した共同建替事業支援やエリアマネジメントを志向するまちづく会社を支援しながら、空き地空き家を活用した美術展や自立的財源を確保するためのまちづくりファンドの組成など地域再生に向けての実践活動を行っている。
小幡 和輝	おばた かずき	NagomiShareFund / 地方創生会議	地方創生会議は47都道府県すべてから起業家・公務員・政治家・クリエイター・学生などが参加する地方創生のプラットフォーム。全国のローカルプレイヤーがつながり、事例共有や共同プロジェクトなどが生まれ、その取り組みを支援することで地域の活性化に繋げる。また、「NagomiShareFund」は株式による出資ではなる売上のレベニューシェアで回収するモデルを採用。これにより、既存のファンドが投資しづらい、地域の名産品や伝統工芸品などへの支援を実現。さらに、クラウドファンディングを活用した起業支援を全国各地で行っている。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
鍵屋 一	かぎや はじめ	跡見学園女子大学／(一社)福祉防災コミュニティ協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体職員のとくに、防災基本条例を起草。地域防災の基本書を目指した「地域防災力強化宣言」を出版。</li> <li>・防災関係の講演、自治体職員向け研修など多数。特に、全国各地で災害時要援護者支援とまちづくりの連携について話す機会が多い。</li> <li>・(一社)福祉防災コミュニティ協会代表理事として、福祉施設の福祉防災計画作成、コーチ養成、災害時の支援活動などに取り組む。他に、学校防災、マンション防災活動に力を入れている。</li> <li>・内閣府地区防災計画アドバイザー(横須賀市、荒川区、高知市、吹田市、札幌市、市原市)、内閣府主催の防災こくたい、防災とボランティアのつどい、などでコーディネータを務める。</li> </ul>
梶川 貴子	かじかわ たかこ	株式会社 ウェルネスアリーナ	地域の特性を活かした、産業振興および活性化のサポート。マーケティング戦略の立案および実行など。
加藤 せい子	かとう せいこ	NPO法人吉備野工房ちみち/千道株式会社	<p>「一人ひとりの夢が実現し希望と笑顔が生まれ幸せの和が広がる」を目的を達成するために「一人一品」の考え方を元に、一人ひとりの夢を実現させる場として「みちくさ小道」の運営を行っている。※一人一品とは、その人の一番の輝き多様なステークホルダーの集合体に特徴である。</p> <p>★みちくさ小道から派生して出来た取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間の地域資源発掘</li> <li>・里山×子育て体験</li> <li>・商品の販路開拓</li> <li>・地域文化の伝承</li> <li>・人財育成(インターンシップ、研修事業)</li> <li>・仕組みづくり(小・中・高校生をつなぐ)</li> <li>・健康増進</li> <li>・防災・見守り</li> <li>・交流観光体験プログラム</li> </ul> <p>★みちくさ小道の仲間たち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湯原っしい(真庭市)・大分みちくさ小道(大分市)・伊達ルネッサンス(亶理町、山元町、新地町)・石巻に恋しちゃった(石巻市)・Re:us world(気仙沼市唐桑)・さんりくさんぼ(宮城県気仙沼市本吉地域)・かんぱく(香川県観音寺市)・เทศกาลของดีเมืองสุรินทร์(タイ国スリン県)</li> </ul> <p>★JICA研修プログラムとしても活用(アジア太平洋大学×みちくさ小道)7年間で45ヵ国(アジア、アフリカ、アンデス地域)400名近い行政官、実施関係者、生産者が地域開発に必要なコミュニティ・キャパシティ開発を学ぶ。</p>
金井 藤雄	かない ふじお	生薬コンサルティング	<p>1、ベトナムにおける桂皮の栽培について事業化に成功し村全体の活性化につなげた。2、ロシアのアルタイ州などにおいて甘草の野生収穫および栽培・集荷を行い地域の活性化へつなげた。3、ロシアのイルクーツク州において麝香鹿の育成と集荷、狩猟許可に基づき麝香鹿確保、麝香牧場に放牧・育成し麝香を集荷するビジネスモデルの構築を実施した。4、ブラジルにおける牛黄・吐根などの生薬の集荷、日本薬局方による品質管理の指導等を行っている。5、三重県における薬用植物栽培事業について専門家として委嘱を受けて活動している。6、各市町村からの問い合わせをいただき丁寧に薬用植物栽培の相談を受けております。7、GMPコンサルタントとして生薬管理責任者の教育訓練、製薬企業の手順書・基準書作成、生薬鑑定・生産実務(鏡見等)、定量など分析実務、各種バリデーション実務を指導している。</p>
兼古 哲也	かねこ てつや	北月山自然景観交流振興プロデューサー	平成19年2つの町の合併によって生まれた山と町場の交流が地域を見直すチャンスとなり、庄内町唯一の観光宿泊施設「月の沢温泉北月山荘」で、一度は閉店した食堂を地元主婦グループらの協働で主婦レストラン「やまぶどう」を開業した。使用する食材は地元で採れた山菜や新鮮野菜においしいお米といった地場産100%の素材、その食材本来の味を大切にされた地元料理が好評で、利用者の増加に結びついている。平成26年から「やまぶどうの会」が町の淡水魚養殖施設の指定管理者となっており、町の特産品でもあるイワナの養殖販売の運営をしている。また、北月山自然景観交流施設振興プロデューサーとして、北月山荘を拠点に自然体験や農業体験等グリーン・ツーリズムの推進、地元高校への観光出前講座等を実施している。
鹿野 美弘	かの よしひろ	NPO法人 薬草木を育てて地域産業と観光資源を作る会	<p>地域の生活の質の向上のため漢方医薬学の知識、経験を用い地域活性化のために下記の3点から取り組んでいる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 荒廃しつつある田園、中山間地区を薬草木の植栽により再利用、活性化を進め、平成27年度は薬木サンシュユの植栽に関し、農水省・薬用産物等地域特産作物産地確立支援事業の助成を受け、中山間地区の篤農家10数名と継続中。</li> <li>2. 医師。薬剤向けの漢方臨床基礎理論講座(薬証会・15回シリーズ)を全国80ヶ都市で開催したが、NPO法人開設後5年間で岡山、徳島、松山で開催している。</li> <li>3. 漢方医薬学を大衆向けにし、平成26年以降、地域住民に無償の薬膳学校を開き薬膳学、薬膳素材学を講義、薬膳実習を行い健康的で楽しく豊かな生活の普及を進めている。一卒業生は薬膳食堂を開設した。</li> </ol>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
河合 克仁	かわい かつひと	株式会社アクティビスタ / 国立大学法人筑波大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の魅力の再定義×その地域だからこそできるソフト/ハードの整理とPR</li> <li>・その地域の企業を巻き込んだU/Iターン採用と若者育成支援</li> </ul> 実績（2015年7月～）： <ul style="list-style-type: none"> <li>■地方の中小企業の魅力の言語化・見える化を行ったUターン/Iターン採用支援（北海道、青森、福島、長野、愛知、千葉等）</li> <li>■産学連携の人材育成と人材採用支援</li> </ul> 筑波大学にて地元企業への就業体験を含んだキャリアデザイン教育の授業を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>■10年後の未来を描くビジョン策定支援</li> <li>中小ベンチャー企業の理念・ビジョン策定</li> <li>■大企業×ベンチャー企業×異業種×異年齢のカンファレンスの開催</li> </ul> 参加企業数述べ200社以上、実施回数10回、参加企業の売上総和3兆円以上、従業員総数3万人以上（直近1年間）の経営者会議開催
川崎 克寛	かわさき かつひろ	徳島大学	2010年より内閣府地域社会雇用創造事業（ソーシャルビジネスネットワーク大学四国キャンパスのインターンシップ事業）のメンターとして関わり、四国の学生と地域企業とのマッチング・コーディネート活動に携わる。また、四国経済産業局主催の企業向けセミナーにおいて、コーディネーターとして参加。2011年3月から、東北での支援活動「つなプロ」に参画し、エリアマネージャーとして、現地にて地域住民の生活サポート、ボランティアスタッフのコーディネート活動のほか、同年6月より、ソーシャルビジネスネットワーク大学四国キャンパスの復興支援インターンシップ事業である、岩手県陸前高田市で行われたT-ACT事業にも参画し、現地ディレクターとして、50名を超える学生を受け入れ、地域再生プロジェクトのコーディネート活動を行っている。2014年、ネパールの地震復興支援活動を行う。2016年2月より徳島大学特別准教授・COC+推進コーディネーターとして、文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（COC+事業）」に携わる。
岸川 政之	きしかわ まさゆき	百五銀行／皇學館大学／（一社）未来の大人応援プロジェクト	三重県多気町にある相可高等学校食物調理科調理クラブが運営する高校生レストラン「まごの店」やその先輩が運営する惣菜とお弁当の店、（株）相可フードネット「せんばいの店」など、コミュニティビジネスの手法を取り入れた地域おこしに取り組む。これらの取り組みは、国土交通省ふるさと手づくり賞大賞、総務大臣優秀賞など多くの賞を受賞し、2011年5月からは「高校生レストラン」と題しテレビドラマ化もされ話題を呼んでいる。また、高校生などの若者（未来の大人）たちと地域ビジネス創出事業（Social Business Project、略称：SBP）にも取り組んでいる。SBPは、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうというもの。具体的には、自分たちのまちの魅力・地域資源（ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等）を知って地元愛が育ち、地域資源を生かしたビジネスを立ちあげ、自ら働く場を確保することで地域に残れる仕組みをつくっていくもの。高校生レストラン「まごの店」等を先進事例に、2013年4月に三重県立南伊勢高等学校南勢校舎で最初のSBPを立ち上げ、その後このような地域に根ざした取組が全国に広がっている。そして、SBP活動に取り組む高校生が集い研鑽する”全国高校生交流フェア”は、2017年から文部科学省の共催事業となっている。現在は地方の活性化をテーマに、全国各地で「まちづくり」、「商品開発」、「生き方・考え方のヒント」などをテーマにした講演やワークショップも多数開催するとともに、市町村、NPOなどのアドバイザーとしても活躍している。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
北尾 洋二	きたお ようじ	株式会社ザメディアジョン・リージョナル／大分県立芸術文化短期大学 情報コミュニケーション学科	<p>「地域のために、地域を越えて」及び「新卒採用で地方創生」をミッションとした、新しいタイプの「創職」サポート・「ジョブメーカー」として日々活動しています。メディアのアレンジメントから出版・広告代理・編集プロダクション、まちづくりコーディネーター・社会調査、ワークライフバランス、男女共同参画推進、障害者雇用支援、新卒採用支援に至るまで、地域活性化から企業活性化までをカバーします。「ご縁と感謝の経営」を軸にしながら、「ひとつづくり まちづくり くにつくり」をモットーに活動を展開しています。</p> <p>● 地域活性化と発展は「雇用・就職」から／学生、企業、地域社会の立場をしっかりと理解し、お互いの納得度を高める就職支援と企業の採用支援（採用ノウハウの提供、経営指導など）、そして地域コミュニティとしての場づくりを行なっています。（実績：文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」、厚生労働省「地域人づくり事業」、島根県庁、山口県庁、大阪府大阪市、岡山県岡山市、山口県山口市・下関市・岩国市、島根県益田市など）</p> <p>● 地域資源の掘り起こしを「若者目線」で／アクティブラーニング（サービ斯拉ーニング）の手法を用いたフィールドワークで、地域の課題を若者目線で改善提案。「連携」という言葉の枠を越えた、地域づくりを展開しています。（実績：文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」、厚生労働省「地域人づくり事業」、日本環境協会「いきものみつけファーム」及び「こどもエコクラブ」、各自治体「まちづくり講演会」、ソーシャルネットワークワーキングサービス（SNS／facebook、twitter、Instagramなど）を活用した情報発信事業及びイベント企画、SNSに関する利用実態調査、地域の魅力度調査、大分県竹田市・豊後高田市・姫島村、山口県山口市・下関市・宇部市、島根県江津市、高知県宿毛市、宮崎県串間市、山口銀行・山口フィナンシャルグループなど）</p> <p>● 地域の歴史をテーマとした研究活動、魅力発見及び研修事業展開／歴史街道・萩往還散策マップ実行委員会、夢街道ルネサンス、知覧研修、萩・松下村塾をテーマとした現地調査活動、月刊松下村塾・月刊高杉晋作・龍馬と長州等の歴史ムック発刊とプロモーション、日本風景街道などの調査研究及び産学連携のフィールドワークを実施しています。（実績：文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」、鹿児島県南九州市、山口県周南市・萩市・山口市・防府市・下関市、宮崎県串間市など）</p>
北野 尚人	きたの ひさと	広島経済 大学経済学部 メディアビジネス学科	<p>・「地域絆と東京鮮度」をモットーに、マーケティングやコミュニケーションの知識・ノウハウを活かし、地方都市ならではの情報や時間面での真の豊かさの実現支援に向けて活動中。</p> <p>・今街中で起こっていることが分かれば、すぐに駆けつけられるサイズのコンパクトシティだからこそできること、ワークライフバランスの良さをどう生かすかを模索中。</p> <p>・博報堂のブランディング・ノウハウを活用した「地ブランド構築」支援活動も展開中。特に、最近では、農産物や水産物のブランド化、地方都市のブランド化、地方ならではの「食」のブランド化、等に関してもチャレンジ中。</p> <p>・「瀬戸内海」と「中国山地」「山陰地域」の魅力の棚卸しを、辛口の他所者視点に立って推進中。</p> <p>・大学へ移ってからは、マーケティング、コミュニケーション、メディア、広告、広報、ブランディング等を研究。</p> <p>・学生に対しては、従来の常識に捉われない柔軟な発想で、物事を見つめ考えることを指導。</p>
衣笠 愛之	きぬがさ よしゆき	(有)夢前夢工房 (株) 兵庫 庫大地の会	<p>平成6年 ・農業規模拡大を決意する（専業農家へ）</p> <p>7年 ・経営改善計画認定取得する（認定農業者）・無農薬栽培本格的にはじめる</p> <p>9年 ・生きがい農園を主催する</p> <p>11年・農業生産法人設立 ・夢そば作付け開始 ・小学校農業体験に関わる</p> <p>12年・青空市場「夢」設立 ・夢そば推進協議会を結成する</p> <p>15年・特定農業生産法人認定される ・夢そば乾麺完成 ・ひょうご安心ブランド取得（無農薬認定）</p> <p>17年・新規就農研修施設「夢工房」を設立する</p> <p>18年・環境創造型農業兵庫モデル地区に認定される（10ha）</p> <p>20年・食育アドバイザー指導を始める ・第1回田んぼアートを開催 ・地元スーパーとの連携開始</p> <p>21年・姫路市夢さき夢のさとの指定管理者になる（夢やかた）・農家レストラン「夢工房」オープン</p> <p>22年・産官学連携商品開発への取り組み、米粉食品指導員免許取得（（財）日本穀物検定協会）</p> <p>23年・6次化法認定（農林水産省）、食と地域の交流推進事業認定（平成23～24年）</p> <p>24年～25年・イチゴハウス（37a）、直売所「夢街道farm67」開設</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
木下 齊	きのした ひとし	一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス	<p>“地域の中心的なチームを組織して新たな事業を創り、その事業経営を通じて地域の抱える経済的・社会的課題を解決するのが、私のスタンスです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1998年、早稲田商店会における環境を切り口とした商店街活性化に参画。「エコステーション」の運営を通じて、1999年より全国リサイクル商店街サミットを開催（現在までに全国で13回開催）。さらにネットを活用した情報共有を行い、2000年度新語流行語大賞「IT革命」受賞。</li> <li>・2008年には熊本市内における不動産価値の向上を目指し、熊本城東マネジメント株式会社を設立。不動産・店舗経営にかかる契約を一本化することでコスト削減と業務品質改善、まちづくり基金の創出する、エリア・ファッション・マネジメント事業を立ち上げる。現在、北海道から九州まで全国各地で同様の事業を立ち上げている。</li> <li>・2009年には全国各地の事業型まち会社とそれを共同で推進する民間企業や専門家によるアライアンス団体、一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンスを設立。現在11都市のまち会社が加盟し、共同で事業開発を推進している。</li> <li>・2011年からは、エリア・イノベーション・アライアンスにおいて、新たな事業開発プログラムである「エリア・イノベーターズ・ブートキャンプ」を定期開催。全国から参加者が集まり、事業開発に取り組み、成果を挙げている。さらに、インターネットを活用した事業プログラム販売などのプラットフォーム開発にも着手、まち会社が物理的な制約を越えられるよう、オンラインでの事業開発・経営推進を図っている。・2013年には公民連携事業を推進した実績から、地域活性化伝道師を務めるアフターヌーンソサエティの清水氏、CRA合同会社の岡崎氏と共に一般社団法人公民連携事業機構を設立し理事を務める。同社では2015年より東北芸工大と提携し、公民連携プロフェッショナルスクールを開校し、自治体、民間横断での全国的な公民連携事業家の育成に当たり、既に全国で30以上の公民連携によるまちづくり事業の立ち上げにつなげている。さらに今年からは都市経営プロフェッショナル・スクールへと進化させ、幅広い都市経営課題解決に対応する。インターネットと実地研修を組み合わせ、現場をもつ人々が互いに他の地域をもサポートできる体制をつくりあげること、自立した地域づくりをサポートする。</li> </ul>
久野 美和子	くの みわこ	電気通信大学	<p>グローバル経済・産業・社会の中で、日本や地域、個別の企業が生き残り、勝ち残っていくためには、大学や研究機関の優れた研究・技術成果を社会的価値に繋げていくことが極めて重要である。また、その方法としては、単独ではなく、多様な知識をもった人材や組織との連携・融合が不可欠の時代となっている。このため、プロデューサーの経験・ノウハウを活かし、1. 埼玉・千葉・茨城・群馬地域～東京(広域)の各大学や研究機関、支援機関と連携して、産学による共同研究開発～新事業創出のしくみづくり、個別支援を行っている。</p> <p>2. 特に超高齢化社会に突入している現在、ライフイノベーション(健康・医療・福祉・介護、食・農等)分野の共同研究～新商品開発・新事業創出が急務であり、重点的な取り組みを行っている。3. 日本の科学・技術の中心である「つくば地域」で、「科学・技術産業イニシアティブ」(グローバル・オープンイノベーション・プラットフォームづくりを目指す、科学・技術、産業分野の有志の会)を立ち上げ、様々な分野の専門家によるセミナーやプロジェクトメイキング活動等を実施中。4. NPO法人「イノベーション・ネットワーク」を有志で立ち上げ、若い・科学人材育成、「健康・食」の拠点作り等に注力。5. 地域活性化伝道師としても、1.～3.に関わり、地域や個別企業からの相談に応じてプロデュース活動を行っている。</p>
小島 大	こじま だい	ささつな自治体協議会	<p>全国各地の40数人の首長陣が集う、ささつな(ささえる・つながる)自治体協議会の議長・事務局としまして、会員自治体を中心とした住民の皆様の生活に貢献・寄与する事を目的とし、都内の大学の教授陣や自治体職員と連携して、首長陣を中心としました交流促進のための意見交換会、勉強会、懇親会等の開催などにより、地域を超えた複数の自治体間で締結しました防災協定を主な活動として自治体支援活動に取り組んでおります。</p> <p>同時に、会員自治体の道の駅等の商業施設を連携させること等により、スケールメリットを活用させることで、地域産業の振興、特産品の販売等による地域経済の活性化活動に寄与して参りたいと思います。また地元大学の教授陣と研究会を開催しての農業・教育分野を中心としましたまちづくり推進支援活動と共に、ささつな自治体協議会と連携しております大手企業陣の集い、ささつなCSR協議会の企業メンバーと協働することで、ささつな自治体協議会の会員自治体様を中心に多岐な分野において自治体支援事業を行って参りたいと思います。</p>
後藤 健市	ごとう けんいち	スノーピーク地方創生コンサルティング株式会社	<p>「場所文化」をキーワードに具体的な場の設定に関わり、地元の十勝・帯広では、北の屋台(2001)、スノーフィールドカフェ(2002)、東京では、場所文化フォーラム(2002)、とちの…(2007)、にっぽんの…(2010)の立ち上げと運営に携わってきた。さらに、まちづくりのさまざまなアイデア実現のために会社・団体を複数設立し、場所の価値を生かした実践活動を行い、全国各地での講演や、地域の元気人材を巻き込んだ活性化事業に携わりながら、コミュニティビジネスやソーシャルビジネス創出の強化に取り組んでいる。また、2010年から海外での活動を開始し、シンガポール、ハワイ、そして極東ロシアなど、アジア&amp;パシフィックエリアの地域との連携を視野に入れた事業に取り組んでいる。地域活性化事業以外として、障害理解とコンプレックスの自覚のためのプログラムを行っており、また、ポケットサイズのカラー点字器を開発し、「名刺に点字を入れる」ボランティア運動も展開している。(カラー点字プレートは98年度のグッドデザイン賞中小企業庁長官特別賞を受賞。)</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
小林 秀司	こばやし ひでし	株式会社シェアードバ リユー・コーポレーション	<p>全国都道府県に出かけて人を大切にする「いい会社」の視察や調査、発掘をしています。これまで企業訪問した数は632回(2018年1月25日現在)。年間70社近くの訪問活動を続けています。企業調査・発掘、研究成果啓蒙講演、企業での研修・コンサルティングが主業務。また、経済産業局や自治体、中小企業家同友会など行政や経営者団体からご依頼を受けて講演セミナーを開催しています。</p> <p>【講演・シンポジウム・セミナー活動実践例】 「人を大切にする経営」 日本青年会議所愛知ブロック協議会シンポジウム・「真の企業経営とは?地域に根ざし、愛される経営」 四国経済産業局・「元気な社員がいる会社のつくり方 労使で楽しく生き活きとした職場」 栃木県小山労政事務所・「障がい者雇用が切り開く新たなフロンティア」 高知県中小企業家同友会・「栃木でいちばん大切にしたい会社を目指そう!」 栃木県中小企業家同友会・「島根県幹部候補向けマネジメントセミナー」 島根県商工労働部 など</p>
斉藤 俊幸	さいとう としゆき	イング総合計画株式会社	<p>2003年関東学院大学まちなか研究室追浜こみゆに亭開設に参加(2003年)、有明高専現代GP事業推進(文部科学省2005年)、全国水産高校生徒研究発表大会四国大会で高知海洋高校うめプロジェクト優勝支援(2009年)、国際教養大学生による高校生向け英語合宿開催(秋田県由利本荘市、総務省地域力創造アドバイザー事業2010年)、千葉県立松尾高校スーパーグローバルハイスクール「地域から考えるグローバル・エイジング研究」(文部科学省2015年)、大阪府立能勢高校スーパーグローバルハイスクール「国際協力の現場で判断力と実践力を培うグローバル人材研究」(文部科学省2015年)、地域活性化センター土日集中セミナー「魅力化による高校の生き残り」と地域活性化」主任講師</p>
佐野 綾子	さの あやこ	International COYA	<p>International COYAは、地方の学校や企業とグローバルコミュニティをつなげます。COYAはグローバル人材の育成を目指す学校、企業、地方公共団体のための、国際教育プログラムの開発と提供を行っています。インターネットを活用したプログラムでは、海外の様々な分野で活躍する多様な国籍の人々が講師となり、それぞれの仕事の内容、人生経験、自国の文化等について、英語でお話しします。日本にいながら、参加者一人一人が、世界の多様な価値観に触れ、自分の新しい可能性に気づききっかけとなる講座の提供を目指します。詳しくはHP (<a href="http://internationalcoya.com">http://internationalcoya.com</a>) をご参照ください。</p>
澤田 廉路	さわだ としみち	鳥取大学/地域価値創造研究 教育機構	<p>【地域衰退を再生させた主な取組実績】</p> <p>■ 1. 地方中心市街地の再生実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 境港市、水木しげるロードの調査し、理論的にかつ情熱的に支援活動等を実施</li> <li>・ 倉吉市玉川白壁土蔵群を中心とする倉吉の街並み整備活動と活性化の実施</li> <li>・ 鳥取市鹿野町のまちなみ整備活動の推進(いんしゅう鹿野まちづくり協議会と一緒に「鹿野まち普請の作法」等も作成)</li> </ul> <p>■ 2. 中山間地域の再生実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳥取県智頭町で、智頭杉「日本の家」等を手掛け、智頭町活性化プロジェクト集団に所属し、日本0/1(ゼロ分のイチ)運動の活動支援、四面会議システム等の活性化手法に携わる</li> <li>・ いなばのジビエ推進協議会を全国に先駆けて立ち上げて、中山間地域の獣害対策と厄介者を活用した地域振興の支援を実施</li> </ul> <p>■ 3. 地域を活性化させる研修教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政、大学(教員・学生)、住民、NPO関係者等との課題解決型研修を行ってきた</li> </ul> <p>様々な異なる主体の人々を結びつけ一緒にグループワークを行なうことで課題解決に向かう手法を学ぶ研修を実施</p>
志村 尚一	しむら しょういち	有限会社ウィルビー/株式会社 源喜舎/劇団ぜんとうようくらぶ	<p>「一人一人のキラめきが輝く未来をつくりだす」をモットーに、資源の発掘と活用の仕方、住民一人一人が人材(役に立つ人)となれるような人材育成を、地域に密着して指導・アドバイスを行っている。これまで指導した地域の方々からは、「自分達が気づいてなかった地域の可能性に気づかされ、実践方法も具体的にアドバイスしてくれるので、確実に成果が上がる」との声をいただいている。</p> <p>現在、岩手県西和賀町の産業公社・湯田牛乳公社のゼネラルマネージャーに就任し7年目だが、人材育成と、所得と雇用の確保を目的に、6次産業と相乗効果を生み出す協働という手段を用いながら、地元の資源を生かした産業振興を推し進めている。</p> <p>平成23年から、三陸の震災被災地で地域コミュニティ再生・復興のための支援活動(延600回)を行っている。そのほかにも、全国各地で「6次産業化」「農林水産業」「教育」「福祉」「人材育成」など幅広いテーマで、年間100回以上の講演・研修を行っている。</p> <p>また、自身が主宰する劇団『ぜんとうようくらぶ』は、「介護保険」「食農教育」「協働によるまちづくり」などを題材にした演劇を全国各地で多数上演。他にも、「市民憲章運動推進全国大会」「全国農業青年交換大会」「農山漁村女性の日記念の集い」などで、記念講演や演劇公演を行う。</p> <p>平成25年から、岩手の銘柄豚「白金豚」の生産農場と連携する居酒屋『源喜屋』の経営を行い、県内の生産者と消費者をつなぐ6次産業化のモデルとして各方面から注目されている。</p> <p>平成29年からは、行政や地域の依頼を受けて、「共生型地域コミュニティ」や「地域包括ケアシステム」の構築につながる住民の意識改革・行動改革を目的とした講演・研修も行う。</p> <p>※平成29年の取組概要は別紙参照</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
新海 洋子	しんかい ようこ	特定非営利活動法人 ボランティアネイバーズ	中部7県で、持続可能な地域づくり、社会形成のための、行政、事業者、NPO/NGO、学識者等多様な主体の協働による「環境」「まちづくり」「サステナビリティ」「教育」を主なテーマとしたコンサルティング、マッチング等協働事業支援を行っています。
鈴木 邦治	すずき くにはる	一般社団法人 頑張る地域支援し隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域イノベーション創出による地域活性化及び人材育成、まちづくり</li> <li>・自治体の広域連携による情報通信を用いた教育、介護、農業等の推進</li> <li>・新エネ省エネによる新産業の創出</li> <li>・地域資源を活用した6次産業の開拓</li> <li>・防災、減災を踏まえたまちづくり(スマートコミュニティ)</li> <li>・道の駅やインキュベーション施設などの活性化</li> <li>・企業誘致・公募事業による実証実験や研究ほか</li> </ul>
早田 吉伸	そうだ よしのぶ	特定非営利活動法人 カット・ジェーピー (Cut-jp)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「システムデザイン」「情報アーキテクティング」の考え方をベースに、様々な社会課題を解決するためのコンセプトワーク及びその実現のための事業プロデュースを多様なフィールドを通じて実践しています。</li> <li>・中長期的なグランドデザインを描くことから、現場における「何をやらなければならない」という状況の打破まで、マクロ・ミクロの課題を各ステークホルダーの方々と一緒に考え、試行し、解決に導くことをモットーにしています。</li> <li>・特にIT(情報技術)の領域においては、「利活用」「公共サービス」の視点からコンサルティングを実施し、地域活性化に向けた課題解決につなげていきます。</li> </ul>
高津 定弘	たかつ さだひろ	高千穂大学	国土計画、経済計画、地域開発、地域政策、経済政策など
高橋 和勸	たかはし かずゆき	NPO法人 ワップフィルム	<p>映画という手法により「映画による地域力創生事業」、「地域コミュニティの連携」を提案。 対話型映画による研修プログラムの提案。</p> <p>I. 映画製作によるオープンイノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と人と組織を繋げて活性化。</li> <li>・地域資源を活かし新たな視点で組合せることでイノベーションを生み出す。</li> <li>・映像作品活用の普及/指導(地域のPR映像など)</li> </ul> <p>II. 地域映画×上映フューチャーセッションのパッケージ化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちを自分たちの手で変えていく、多様な参加者による対話と人々の幸せ。</li> <li>・日本各地の自分たちのまちの未来へ置き換えて考え、対話、共創の中から協調アクションへの場づくり。</li> </ul> <p>III. キネマフューチャーセンタープロジェクトの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街空き家、空き店舗、社会問題の解決。</li> <li>・コミュニティスペース/フューチャーセンター/コミュニティ映画館として運営。</li> <li>・未来創造のための人事育成、産官学金、地域(農工商)連携及び新産業創出の場づくり。</li> <li>・対話型映画「未来シャッター」記録的な上映ロングランを更新中。(連続2年半以上)</li> </ul>
高橋 聡	たかはし さとる	カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社 行政サービス企画カンパニー	主に図書館を主軸とした、地方創生の核となる公共施設の企画開発を行っています。佐賀県武雄市の依頼を受け、図書館のリニューアルを企画し、2013年4月より指定管理者として武雄市図書館の運営をスタート。年中無休・夜9時まで開館、書店やカフェの併設などを実現し、人口5万人の武雄市で、同図書館は1年間で92万人の来館者を迎えました。これは、リニューアル以前と比較すると360%の来館者数です。知の拠点であると同時に、賑わいを創出する公共施設としてコミュニティの中心的役割も担い、その町の方々によるイベントやワークショップも開催しています。2015年10月からは神奈川県海老名市の海老名市立図書館の運営も行っています。また、2016年宮城県多賀城市、岡山県高梁市との取り組みも行っています。
竹内 よし子	たけうち よしこ	特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク	①アフリカ・モザンビーク支援関連：松山市や小学校等と協働し、放置自転車をモザンビークに送り、銃を回収するプロジェクトを支援。放置自転車対策からまちづくり支援、学校教育支援から地域ぐるみの取組みへと発展。現在は、持続可能な社会づくりのための「学び」と「実践」の拠点として現地の公民館建設に取組む。本事業については、学校から地域へと広がり、企業・メディア・ミュージアムなども関わって国際・平和・環境・人権・多文化共生教育の一環を担っている。②東雲公園関連：公園の一部(未利用地)を活用し、NPO法人えひめ311と愛媛大学とともに「コミュニティファーム」として取組みが展開できるよう、町内会、松山市公園緑地課等関係者との調整を図り、小学校児童の生活科の授業で環境ESDモデル学習の実践を行った。③その他、各種学校との連携により多様な主体が地域のコミュニティづくりに関わられるよう支援・助言している。
太齋 彰浩	だざい あきひろ	デザイン・バル	<p>民間の研究所で、海洋生物・生態学の研究者として藻場造成等の研究に従事。地域密着型の教育活動を志し、志津川町(現・南三陸町)へ移住。使われなくなった箱もの施設を再生し、住民も気付かない地域資源の掘り起こしと、体験学習プログラム開発により、学びをキーワードにした交流人口の増大に貢献。慶応義塾志木高等学校の研修プログラムやJSTの高校生サイエンスキャンプ受け入れなどで、年間2,500名ほどの教育利用を創出。地域の人材育成にも力を入れ、地元小中学校でのプログラム実施やエコツアーガイド等の養成を行う。</p> <p>東日本大震災で町が壊滅的な被害を受けた後は、水産業の復興に取り組むとともに、持続可能な地域社会の姿を模索し、未利用資源を無駄なく使う「地域循環の仕組み」づくりにも注力。</p>



氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
田城 孝雄	たしろ たかお	放送大学	平成9年に国立大学医学部付属病院として初めての総合医療連携部門（医療社会福祉部）を立ち上げました。さらに地域包括ケアの先進モデルである広島県尾道市の取組みの解析を行い、多くの知見を得ました。東京都保健医療計画策定協議会改定部会委員や、世田谷区地域保健福祉審議会での議論を通じ、地域における保健・医療・福祉計画の立案に関与しました。また、板橋区乳がんの地域連携バス検討委員会委員、足立区糖尿病対策協議会アドバイザー、横須賀市医師会医療連携協議会アドバイザー、さらに豊島区在宅医療推進協議会会長、文京区在宅医療推進協議会部会長など、行政と三師会などとの協議会の運営に関わり、いろいろな立場の方々の意見を尊重しながら、地域の保健・医療・介護・福祉のネットワーク作りに取り組んでいます。また、全国で招請され講演を行っております。 内閣官房地域活性化統合本部 地域再生推進委員会 委員長として、地域再生を推進する方策の検討に取り組んでいます。
舘 逸志	たち いつし	地域活性化学会	平成18年～25年の8年間、北陸先端大にて地域再生システム論を開講。カリキュラムの作成、企画・運営に関わる。以来、大学を拠点とする産官学連携の地域活性化に関わってきた。具体的には、北陸先端大では、温泉地の活性化、伝統工芸と地域活性化、鳥取大では、地元出身の経済人の地域貢献活動の支援としての大山活性化講座の開講、熱海・湯河原では民間主導で県境を跨る広域的な地域活性化を進める取り組みを支援してきた。内閣府の経済社会総合研究所においては、こうした大学の地域活性化システム論の展開を横断的に支援するためにカリキュラム研究会を開催、平成24年度には「地域活性化システム論カリキュラム研究会報告書」 <a href="http://www.esri.go.jp/jp/prj/hou/hou061/hou61.pdf">http://www.esri.go.jp/jp/prj/hou/hou061/hou61.pdf</a> を纏めた。平成20年からは、木村俊昭氏らとともに地域活性化学会の発足に関わり、現在副会長、研究推進委員長として産官学の連携による地域活性化を各分野で推進するプラットフォームづくりをお手伝い。公益資本主義推進協議会が進めるマイコミュニティフォーラムでは大学と地元若手実業家の連携による地域活性化を促進。企業経営者の推進する産官学協力の地域活性化事業の推進をお手伝い。母校埼玉大学では平成30年度から地元創業経営者などから学生が生業、起業、事業継承などを学ぶ「実践ベンチャー論」を開講予定。
田邊 寛子	たなべひろこ	まちひとこと総合計画室	<アドバイザーとしての取り組み> ・観光：地形や境界など地理的な要素も地域資源ととらえ、歴史や産業と合いましたその地域らしい観光づくりを持続可能な仕組みづくりを視点にアドバイスしている。 例) 長野県辰野町：横川溪谷地域資源活用観光モデルコースの住民の主体的な開発事業に講師として参画。 ・社会福祉：離島の福祉について、地域資源の活用し、障がい者や高齢者の「生きがい」「自立」「持続可能」を視点に場づくりの支援を行っている。 例) 鹿児島県徳之島：社会福祉法人の複数の施設の再編と改善を地域と連携した施設づくりのアドバイザーとして参画。 <コンサルタント・景観デザイナーとしての取り組み> ・景観デザイン：その地域の地域資源である風景は人々の暮らしと生業が根本にあり、ハードのデザインだけでなく、ヒト・コトづくりにつながる関係のデザインも同時にアドバイスしている。 例) 葛飾柴又帝釈天参道周辺：住民主体の景観づくりを2004年からまちなみガイドラインの作成やまちなみ協議会の運営を支援し、2018年文化的景観に選定。
田村 文男	たむら ふみお	NPO法人 密集住宅地区整備促進協議会	木造住宅密集地域の地権者、関係権利者に対して、阪神・淡路大震災の教訓を生かして、木造住宅密集地域における改善・防災・環境の向上・過密した市街地の有効活用や建物の共同化及び整備に関する研究を行い、安全で快適なまちづくりに寄与するとともに、高齢者・障害者介護及び医療施設の基盤整備を促進する事業を行い、要介護高齢者・障害者福祉及び医療の増進に寄与する。 ・医療法人仁医会 介護老人保健施設コンサル ・社会福祉法人善光会福祉複合施設コンサル(工業専用地域に建設) ・耐震偽装マンション グランドステージ池上 建替えコンサル(マンション建替え円滑化法) ・密集住宅地区整備共同化 アイリス壺番館(80戸)ル・サンクアイリスタワー(208戸)外10棟 ・ものづくり工場アパート建設コンサル(民設民営工場アパート、延床2400坪)
塚本 芳昭	つかもと よしあき	一般財団法人 バイオインダストリー協会	産学連携、技術移転、ベンチャーと製薬企業等のアライアンス、クラスター形成等の地域振興に関する業務を実施しています。またバイオ分野のリーダー人材育成に関する業務にも取り組んでいます。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
長坂 尚登	ながさか なおと	豊橋屋 / WE LOVE MIKAWA	愛知県豊橋市の商店街マネージャーとして、まちなか活性化のために奔走。 ■「豊橋まちなかお店マップ」「豊橋まちなか看板娘マップ」の作成 ■空き店舗を改修した交流拠点「花園ベース：HANACOYA」の設置、運営 【グッドデザイン賞2014】 ■空き店舗・空き家見学ツアー ■「豊橋に日本一の図書館をつくろうプロジェクト」 などを実施。地元の学生や若手社会人らを、戦力的に活用し、成果を上げている。 <経歴・実績> H21農水省： 農業を通じた日系ブラジル人青少年と地域社会との共生プロジェクト（豊橋市） H20、21内閣府、H22、23総務省： 高齢者対応の長期滞在旅行の立ち上げ（沖縄県久米島町） H19経産省、H20全国商工会連合会： 食物アレルギー対応旅行の立ち上げ（沖縄県久米島町） その他、国内消費財メーカーなどBtoC企業へのマーケティング調査多数。
蜂谷 潤	はちや じゅん	一般社団法人 うみ路 / 合同会社 シーベジタブル	2013年3月、高知県東端に位置する室戸を拠点とした地域の会社「一般社団法人 うみ路」を設立。 主に地域内で生産される農産品や水産品を使用した加工品の開発や販売、地域内外の交流イベントや勉強会の企画、カフェの運営など地域に根ざした事業を多岐にわたって展開している。 2016年4月、海藻の陸上用養殖を中心に行う合同会社シーベジタブルを設立。室戸市の特産品である海洋深層水で海藻の陸上養殖モデルを確立。その後は日本各地で展開できるように、海水井戸水（地下海水）を活用し海藻やアワビ類の陸上養殖のモデル作りを行ってきた。現在はこのモデルをもとに、福祉作業所や高齢者等、成立させることが難しい事業者とパートナーシップを組んだ日本各地での事業モデル作りを行っている。
花井 恒三	はない こうぞう	奄美のトラさん	①奄美と本土・沖縄の人材マッチング（ヒューマンネットワークウェア） ②本土・沖縄から奄美に住みたい・投資をしたい・貢献したい方、奄美を調査・研究・提言したい方、奄美で自分を極めたい、表現したい方（マドンナ、男性 含む）への奄美の入口案内ボランティア。
林 賢司	はやし けんじ	(株) FoundingBase	地域に新たな活動を起こす時、そこには「新たなアイデア」と「実現に向けて活動を牽引する人材」が必要となる。また、ただ活動を展開するだけではなく、住民との調整を行ったり、役場と議論して目的を整理する必要もある。私たちは「地域おこし協力隊制度」を活用し、都心部から優秀な大学生・若手社会人を地方に送り込み、現地で彼らの活動の支援する仕組みを作った。これにより、若者が「新たなアイデア」を作り、かつその若者が中心となって役場や住民と一緒に活動を展開していくことができています。これまでに、カリフォルニア大学バークレー校・東京大学大学院・慶應義塾大学大学院など出た学生・若手社会人『述べ56人』が、島根県津和野町・岡山県和気町・岡山県吉備中央町・鳥取県に入り、主に教育・観光・農業・林業の分野で、地域住民と一緒に活動を行っている。 ■ これまで支援してきた活動（例） ・津和野高校魅力化事業（島根県津和野町） <a href="http://tsuwano.ed.jp/">http://tsuwano.ed.jp/</a> ・津和野型自伐林業推進事業（島根県津和野町） <a href="http://tsuwano-ringyo.net/">http://tsuwano-ringyo.net/</a> ・地産地消推進事業（岡山県吉備中央町） <a href="http://www.kibichuomarche.com/">http://www.kibichuomarche.com/</a> ・地域情報発信事業（島根県津和野町） <a href="http://tsmoyo.jp/">http://tsmoyo.jp/</a>
平原 秀則	ひらはら ひでのり	平原建設株式会社	例えば沖縄の慰霊地に奉納された千羽鶴。実はその最終処分方法は自治体の大きな悩みです。そこで、千羽鶴を再生紙として甦らせ、ノートや名刺の台紙などに製品化して慰霊地の記念品として販売。これを発展途上国の子どもたちの教育に役立てられています。 また、千羽鶴の解体、仕分け作業を障害福祉施設の利用者をお願いし、工賃の向上を担っております。さらには、沖縄や広島への修学旅行の平和学習プログラムとして、千羽鶴の解体・仕分け作業のボランティア活動を組み入れるなど、人と人をつなぎ、地域とつながる方法を考えてきました。また被災地支援では、北海道等で産業廃棄物に過ぎないホタテの貝殻を、牡蠣養殖の採苗用に被災地の被災障害者施設で加工し、広島等の養殖地に販売する取り組みを進めており、被災地の障害者の就労支援を通じて、人と人とのつながり、人と地域とのつながりを再生することを目指しています。 直近の事例としては、平成24年8月、北海道の北広島市で、障害者支援施設を経営する地元社会福祉法人の地域貢献をコンセプトに、北海道と広島の酒造協会の協力の下、銘酒の試飲会のイベント「北の酒祭り」を開催し、地域住民の絆づくり、地域活性化のお手伝いをさせていただきました。
福留 強	ふくどめ つよし	聖徳大学 / NPO法人全国生涯学習まちづくり協会	①大学と地域の連携によるまちづくりの連携 ②高齢社会の活性化の提案、「創年運動」の提唱 ③「子ほめ条例」のまちの推進、まち全体で子どもの健全育成 ④NPO法人全国生涯学習まちづくり協会での活動、まちづくりイベント、研修の企画、実施、地域の調査など、行政職員の研修 ⑤観光でまちづくり、着地型観光と指導者養成を実施 ⑥日本・韓国生涯学習まちづくり国際フォーラムの実施

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
藤木 徳彦	ふじき のりひこ	オーベルジュ・エスポワール /日本ジビエ振興協会	野生鳥獣を地域の資源として活用するために、商品力をつけること、販売の方法をアドバイスする。調理に携わるプロとして、魅力ある精肉の商品づくり、調理が難しい野生鳥獣をおいしく活用できる調理方法の講習、指導、野生鳥獣と地域の特産品を組み合わせた加工品の開発指導を行う。できあがった商品は地域のみならず、大消費地にプロモーションを行い、滞りがちな流通を開く。「信州ジビエ」の例では、長野県内のジビエを使い、長野県内の福祉施設で加工品を製造し、JR東日本エリアのエキナカの飲食店において開発した商品でのメニュー提案を行い、ジビエの加工品の流通を実現した。東京駅でのジビエ弁当販売や、都内レストランを借りての地域フェアなどで地域のセールスを行う。
本田 勝之助	ほんだ かつのすけ	本田屋本店 有限会社	1. 農業と食から実績を積んだ地域プロデュースの総合専門会社を経営。 2. 代表商品は「本田屋継承米(氏郷)」。肥料開発及び、生産管理、販売まで一貫して行っている。納入先には銀座久兵衛や金田中などの名店、京都伊右衛門サロンなどカフェレストラン等で使われている。 3. 全国各市町村への戦略的アドバイス、ブランドや商品開発、産業活性化への各種取り組みなどの要望に応え、地域との官民連携で戦略的にプロデュースしている。 4. 伝統工芸品のリブランド、商品開発。(Futradition WA0との協業) 5. クリエイティブ: PR制作物(コピー、ポスター、リーフレット、映像、各種) 6. 観光やまちづくり、スマートシティ等のモデルづくり。 7. 日本遺産認定の全地域に対しての統括プロデューサー業務
前神 有里	まえがみ ゆり	一般財団法人地域活性化センター/一般社団法人いよのミライカイギ	公務員時代に、地域包括ケア、虐待防止を担当したことをきっかけに、地域に深く関わるようになりました。そのあと、人口減少対策や移住・定住などの地域活性化、地域振興、人材育成、地方創生に関わるようになり、特にくらしの視点を大切に人づくりとまちづくりを同時に行う地域人材育成に取り組んできました。 総務省の人材力活性化研究会では人材力活性化プログラム・カリキュラムの作成や人材育成研修を実施しており、県職員としての市町・地域支援、地域活性化センターでは、地方公共団体のニーズに応じた伴走型支援を行ってきました。異分野・広域・遠隔地の連携による新たな価値の創出型人材育成が得意で、課題解決から入るのではなく分野を超え課題も混ぜ合うことで新たな手法を探ったり、巻き込むのではなく共感で集まるやり方で進めています。各種研修講師としても全国に出講しています。
松嶋 匡史	まつしま ただし	株式会社瀬戸内ジャムズガーデン	手作りジャム専門店「株式会社瀬戸内ジャムズガーデン」代表取締役。周防大島観光協会副会長のほか山口県のキャリア教育推進委員や活力創出推進会議委員なども務める。 2001年10月に新婚旅行先のパリでジャム屋と出会い2003年11月個人事業として手作りジャム専門店を高齢化率日本一と言われた瀬戸内の島、周防大島(山口県)にて創業。 耕作放棄地を借り受けて自社農業部門を立上げ、現在はブルーベリー・あんず・金時いも・いちご等を生産。店舗では自家製ジャムを活用したスイーツが楽しめるカフェギャラリーを運営するなど、ジャム加工のみでなく、農業(一次産業)・加工業(二次産業)・サービス業(三次産業)をミックスした6次産業形態の事業を展開。地域を巻き込んだ6次産業化を実践している。地域資源を活用し、地域に産業と雇用を創出することを主眼に活動を展開し、現在では首都圏からの移住者を含めスタッフは30人の規模。最近はお寺と連携した空き家のリノベーションで移住者の呼び込みを行ったり、全国初の小中高連携起業家教育への取り組みなど活動は多種多様。2014年新書大賞受賞の「里山資本主義(角川書店)」などでその取り組みが紹介されている。
松島 信雄	まつしま のぶお	(公益財団法人)南信州・飯田産業センター	地域の中小企業の体質改革と新産業クラスター形成に取り組んでいる。事業は4つの柱を基本にしている。 ①ネットワーク形成と地域連携事業: 広域連携としては新潟等との協力活動を展開している。飯田地域においては企業間の交流を通して相互の信頼を高め、協力風土の醸成を図っている。また産学公の連携で地域のポテンシャルアップに繋げている。 ②新産業クラスターの育成: 航空宇宙クラスターの形成を重点プロジェクトとして位置づけている。 4つのワーキングチーム活動を通してQMSの体制確立や技術の向上を図りながら地域一貫生産、共同受注を目指し、実績を上げている。 ③販路開拓支援: マーケティング機能を持たない中小企業にとって販路開拓は大きな課題である。海外も含めた展示会出展や顧客開拓支援に力を注いでいる。海外市場開拓支援としてParis, Farnborough, Belrin, Singapole, Toulouse, NBAA等のAirshowに出展参加してきた。 ④人材育成: 技術・技能のレベルアップと後継者育成を目指して、働きながら学ぶ風土を醸成しようと産業技術大学を立ち上げ夜間、休日を中心に運営している。年間150社を超える企業から延べ2000人近い企業人が学んでいる。2014から地域企業人材共同育成事業の経産省委託を受け、プロジェクトマネージャーを務めている。航空宇宙のQAと生産技術コンサルティング、非破壊検査員の育成に取り組んでいる。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
松原 裕樹	まつばら ひろき	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター	1982年広島生まれ。NPOや企業、渡米経験を経て、環境、教育、地域づくり、観光、防災などに関する事業の企画、運営、コーディネートを行っている。2012年よりひろしまNPOセンターに勤務、2017年から事務局長に就任する。ゆたかな市民社会の実現に向けて、NPOやボランティア活動の支援、ESD (Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育) の推進、地域課題の解決やSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の達成に向けた多様な主体との協働取組など、現場から後方支援まで幅広く活動している。環境省中国環境パートナーシップオフィス (EPO ちゅうごく) ・中国地方ESD活動支援センター 事務局長。
三上 亨	みかみ とおる	(一社)政策集団地域再生青森会議 NPO法人グリーンエネルギー青森	2003年度 あおもり市民風力発電所建設 (建設費3億8000万円) 2004年度 市民風車ブランド「風丸」(青森県在来種枝豆)の販売開始 2004年度 コミュニティビジネスと地域再生の支援開始 2005年度 市民・NPO・町協働の「絆ヶ沢マッチングファンド」助成事業開始 (~2008年度) 2005年度 グリーンエネルギー青森が、総務省から過疎地域自立活性化表彰を受ける。 2005年度 津軽鉄道・津軽鉄道サポーターズクラブの支援開始。 2006年度 都市再生モデル調査で、津軽鉄道再生に向けたアクションプランを策定。 2007年度 青森県大鰐町で、OH!!元気隊の設立を支援。町再生に向けたアクションプラン策定。 2008年度 津軽鉄道サポーターズクラブが総務省から過疎地域自立活性化表彰を受ける。 2008年度 元気隊有志がプロジェクトおおわに事業協同組合を設立。赤字施設「大鰐町地域交流センター鰐come」の指定管理受託決定。 2009年度 指定管理受託初年度で、鰐comeの黒字化を達成。 2012年度 プロジェクトおおわに事業協同組合が、地域づくり総務大臣表彰を受ける。 2016年度 大鰐町大鰐増産推進委員会地方創生事業受託 2016年度 プロジェクトおおわに事業協同組合が地域づくり国土交通大臣賞金賞を受賞
水谷 翔太	みずたに しょうた	天王寺観光協議会	○大河ドラマ「真田丸」放送に合わせた天王寺区内のまちづくりの推進 ○他、メディア、区政運営の経験を活かした講演活動、各種団体・地域のコンサルティング
三角 幸三	みすみ こうぞう	NPO法人チェンジライフ熊本 / LISTENNER'S ファシリテーション研究会	○家庭教育プログラムの作成 (ながさきファミリープログラム、熊本親の学び) 及びファシリテーター養成講座 ○コミュニケーションプログラムの作成・普及 (LISTENNER'S FACILITATION) ○地域づくり、組織の活性化ワークショップ ○生涯学習・社会教育・公民館活動の推進 ○学校と地域との連携に関するプログラムの作成・実践 (長崎県・熊本県)
御園 慎一郎	みその しんいちろう	大阪大学/地域活性化学会	・自治省入省後、地方税財政制度の企画立案に参画。また、福井県、愛知県、茨城県において県政運営に関わるとともに県下市町村の行財政運営にも関与する。制度立案過程の構造と組織運営の提言を学ぶ ・サッカープレイヤーであったことなどによる日本サッカー界との縁で2002 FIFAワールドカップ組織委員会に勤務。アジアで初めて、初めての共同開催というワールドカップの成功に寄与。スポーツの持つ一体感や形成力を実感するとともにサポーターとの距離感の取り方の重要性や国際的事業における交渉力の大切さを痛感。 ・内閣官房地域再生本部において地域社会の活力を構築するための国家組織をあげてのシステムを構築。その一環として地域再生法を制定。全国に地域再生の輪を広げる。 ・地域再生のため大学との連携システムを考案。「地域再生システム論」として30を上回る大学における地域活性化講座開設に寄与。自らも複数の大学で教鞭もとる。 ・地域活性化をともに語りともに進めるための集団としての「地域活性化学会」の設立を発案。発足にも貢献。現在副会長として学会活動の進展、とりわけ学会スポーツ振興部会長として2020東京オリンピックパラリンピックのホストタウン運動を契機とした地域づくりの支援活動を積極的に展開中。 ・厚生労働省において介護保険や生活保護などを担当。介護予防を地域で支える事業の一環としてJリーグのチームによる地域の健康作り活動の展開を提唱し実現に。その延長線上の活動として医療介護のサービスの質の向上や究極の地域づくりである「地域包括ケアシステムの構築」に際して欠かすことのできないヘルスデータをクラウド上で管理することを目的とするNPO法人の活動を展開中。
宮城 治男	みやぎ はるお	特定非営利活動法人ETIC. (エティック)	(1) 起業家型リーダー育成プログラム ・ 起業家、リーダーを志す若者をベンチャー・中小企業の現場にマッチングする「アントレプレナー・インターンシップ・プログラム」 ・ ETIC. イノベーターズ・スクール(起業家講演会) (2) ソーシャル・アントレプレナー輩出プロジェクト ・ 社会起業家の事業基盤確立、ベンチャー企業とのマッチングを支援する「イノベーション・グラント」 ・ 社会起業を志す若者のビジネスプランコンテスト「STYLE -Social venture competition」 ・ 社会起業塾イニシアティブ(NEC社会起業塾、花王社会起業塾、横浜社会起業塾) ・ 東海若手起業塾 ・ 個別プロジェクト経営相談会 (3) チャレンジ・プロデューサー輩出プロジェクト ・ 地域の若者と、挑戦する中小企業 ・ 地場産業等を繋げる「チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト」 ・ 地域の社会起業家、起業家型リーダーの発掘、育成 (4) 大学や行政との地域協働プログラム開発 (5) 震災復興リーダー支援プロジェクト

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
向井 哲朗	むかい てつろう	彦名地区チビッツ環境パトロール隊・NPO法人エコパートナーとっとり	「子供も大人も身近な環境問題を五感で感じる事が課題解決へ繋がる近道」との発想から、1990年にこどもを中心とした「彦名地区チビッツ環境パトロール隊」を結成。テーマは、身近な大問題である「中海の水質浄化」。家庭から出る生活排水と中海の水質汚濁の勉強が始まり、水質汚濁の大きな原因となる廃天ぶら油の回収がスタートした。この活動は、現在、障がい者施設の皆さんとBDF製造にまで発展している。全国で初めての試みでもあった使用済み割り箸を回収し製紙工場と協働して紙再生への取組みについて問題提起。鳥取県米子市で地元のホテル温泉街に協力を呼び掛けて始まった本取組みは、今では地域全体での取組から、更には全国区の事業にすることができた。身近な環境を体で知り、そこに存在する問題をきちんと理解し、自ら活動をするを覚えれば、地球温暖化防止への道は近い。25年以上に渡って継続している割り箸・廃天ぶら油の回収・再資源化活動は、地球を愛することができる豊かな心を持った人間を育てている。廃油ローソク作り・牛乳パックから手づくり葉書きづくり・環境パトロール・廃パンスト等を活用した生活排水浄化方法・メダカ/ホテル観察会・水鳥観察会等体験型学習の指導、グラウンドワーク活動・環境を基軸にした協働の街づくりの継続実践をしている。
森田 潔	もりた きよし	一般社団法人 神戸港振興協会	①地域の様々なイベントの実施 ・神戸港カッターレース～横浜・大阪・広島・南淡町・豊岡市など 全国のカッターレースに実施要領を提供し各地で開催されるようになった。 ・メリケンフェスタ、みなとこうべ海上花火大会、Kobe Love Portみなとまつり、Kobeみなとマルシェ、波止場まつり、神戸港フォークリフト荷役技能向上大会、神戸まつりヨットレース、神戸港ポート天国、ロープワーク教室、ボトルシップ教室、市民クルージング、体験航海、進水式見学会など ②産業観光への取組み ・コーディネーターとして案内したり、旅行商品となりうるものの発掘 ③クルーズ客船や帆船の入出港の歓送迎や船内一般公開の実施 ④海事人材の育成 ・県下の小・中学校への出前授業や船を使った海上からの港の見学等
森本 明夫	もりもと あきお	-	-
矢口 正武	やぐち まさたけ	NPO法人 元気・まちネット	多くの地方は少子高齢化によって過疎化が進んでいます。 元気・まちネットは、そうした過疎に悩む地方から、相談を頂ければ出かけて行き、地元の皆さんと膝を交えてお話をし、その土地にまつわる歴史・文化を掘り起こし、その土地ならではの活性化に寄与出来ればと考えています。 また、スポーツイベントの開催にしても協会や連盟などに登録しなくても可能なローカルルールを考案・構築して、地元の方々も一緒に参加出来る、楽しめる企画を考案出来ます。
箭内 武	やない たけし	株式会社YANAI 総合研究所	1. 改善コンサルティング（セル生産方式） 材料メーカー、家電、電子部品、機械加工、製造工場の現場改善を中心としたコンサルティング。調剤薬局の在庫削減、労働時間の改善など。 2. 人材育成 青森県、八戸市等の人材育成プログラムに従事。高校生、大学生、社会人の研修講師として活動。 八戸学院大学客員研究員として地域社会人向けセミナーを行う。 3. 企業マッチング支援 ものづくりコーディネーターとして産学官の連携、企業の国内外のビジネスマッチングを企画実施。
矢原 正治	やはら しょうじ	山口東京理科大学薬学部、熊本有用植物研究所	私は、地域には多くの「宝」が眠っているが、日常生活の中で当たり前となっており、地元の方は気づかないことが多いため、地元以外の専門家が、現地に入り、聞き取り調査を実施すると、その地域の多くの「眠れる宝」を見いだすことができると思っている。また、1次に、2次、3次を足して、6次産業と言われるが、情報関係が入っていないため「6次産業+情報産業」を進める。 地域にある、モノと人の宝を探し、まず、薬用植物、有用植物にフォーカスした、地域おこしを主とし、環境関係も絡め考える。  ネパールのAITM大学の生物工学科の学生に講義と実習を行っています。 また、ネパール日本友好財団に参加し、田舎の子供達の教育の向上を行っています。
山形 正道	やまがた まさみち	山形薬用植物園 / 鹿児島県立福山高等学校 他4校	鹿児島県民の森・自然薬草の森において協力員として、また大学で習得した知識や漢方薬・生薬認定薬剤師として見学の方々には薬草教室で薬草の講話と薬草園を散策しながら薬草を手にとって実感してもらい、職員の方々には薬草の栽培などの指導・助言を行いました。霧島市保健センターの要請で市民の方に薬草の話や健康についての講話を行っています。平成15年、自宅内の約300㎡に薬草園を開設、約450種の薬草木を植栽し、見学無料で一般公開しています。2年前から始良地区薬剤師会からの要請で薬学生5年次における長期実務実習（薬局・病院においてそれぞれ11週が義務づけられている）のカリキュラムの漢方製剤の単位として薬草見学1時間、漢方講義1.5時間行っております。これから先、漢方薬の原料である生薬の一大生産国中国からの輸入が難しくなります。国内生産を模索する時期に来ていると思います。そこで、国内生産と自給率の向上のために生産者の方々に指導・助言等の支援ができれば幸いです。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
山川 進	やまかわ すすむ	公益財団法人 三重県産業支援センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「企業誘致」…製薬会社、外資系企業など大型企業誘致を実現。東京、福岡において「SOHO（スモールオフィス）形態」での企業誘致活動を行い、企業・行政との新たなネットワーク構築を行う。</li> <li>・「新たな企業投資促進制度の創設」…マイレージ制度、マザー工場化の促進などを柱とする新たな制度を創設し、県内への企業投資を促進。</li> <li>・「コンビナートの再生」…行政・産業界が協働した、規制改革や新たな産業展開の内容をパッケージとし、構造改革特区に申請、第1号認定を受けることに尽力する。</li> <li>・「様々な連携」…「地域発のオープンイノベーション創出」を行う「高度人材イノベーションセンター（AMIC）」を三重県四日市市に設置。地域の産業構造の「知識集約型産業構造」への転換を目指す。ここで、現在も異業種・同業種連携、大企業と中小企業の連携、各種課題解決、産業人材の育成などを行っている。</li> <li>・「温泉街の活性化」…三重県菟野町の湯ノ山温泉にて、各業者での取組を地域一丸となったものへとコーディネートし、「女将の会」結成などにつなげる。</li> <li>・「町おこしリーダー研修」…三重県紀北町の町おこしリーダー研修にてアドバイザーを務め、研修生の成果を行政や地元産業界とも連携した継続的な取組へと繋げる。</li> <li>・「中小企業連携（シンジケート）の促進」…複数のものづくり中小企業が得意とする技術やノウハウを結集し、技術レベル向上や新たなマーケット開拓などにつなげるための中小企業連携体の構成に尽力。三重県には全国トップクラスの連携体が構成されるに至っている。</li> <li>・「三重県海外ビジネスサポートデスクの開設」…成長する新興国等の市場を取り込むため、中小企業の海外展開を支援する「海外ビジネスサポートデスク」（中国、ASEAN）の設置に尽力。</li> <li>・「三重県と北海道との産業連携」…「『三重県・北海道』産業連携推進会議」の設立に尽力。三重県と北海道の「ものづくり技術」と「地域資源」の連携を進め、新たなビジネスの創出、さらには地域経済の活性化に繋げる。</li> <li>・首都圏営業拠点「三重テラス」…東京日本橋において、三重県の魅力を総合的に発信する拠点「三重テラス」の開設に尽力。</li> <li>・三重県中小企業・小規模振興条例の策定に尽力</li> <li>・職員研修センターで県職員向けの研修を実施。三重県職員の人づくりの参画、三重県の商工部門の第1人者として活躍した経験を基に、自ら研修講師として三重県職員に語りかけることで、現場を大切にす職員を育成。</li> <li>・経済産業省の「ひとづくりの切磋琢磨による地域創生実行会議」の委員として参画。</li> <li>・沖縄県と連携して、沖縄の物流特区を活用した東アジア戦略を模索するほか、他地域との連携を検討中。さらに地域のコアとなる中小企業との連携を深めて、海外への販路拡大や現地での人材育成の取組を進める。</li> <li>・各地の事業者や産業支援機関と連携し、地域商社等を通じた地域製品の販売や中小企業が連携した新たなビジネスや人材交流を促進。</li> </ul>
山田 桂一郎	やまだ けいいちろう	JTIC. SWISS	<p>これまで北海道から沖縄県の離島まで全国各地のあらゆる地域振興や活性化に関わってきました。特に、住民主体の地域経営組織の立ち上げと運営や民間事業として様々なビジネス化による収益事業で成果をあげています。基本は全て「自立」と「持続」です。</p> <p>また、政策、施策、事業化には地域経営の視点を重視しています。どれだけ良い計画やデザインであったとしても人間社会の「エゴ」と「利害」により全てが崩壊します。</p> <p>多くの地域で、行政の単年度やりっぱなし事業で地域が疲弊疲労している現実があります。地域住民も何をやって良いのか全くわからない場合もあります。それ以上に目の前の生活に困っていない人もいます。</p> <p>この様な状況から脱出するためには、地域の問題、課題を自分事として住民が認識することが重要であり、住民が根本的な解決と共に自らの未来を切り開く活動に取り組むことが必要です。学問や机上の空論の世界ではなく、日々現場で地域が生き残るために住民の方々と共に考え、実践しています。</p>
横山 幸司	よこやま こうじ	国立大学法人 滋賀大学社会連携研究センター	<p>私は大きくは次の4つの方法によって地域の課題に取り組んでいます。</p> <p>1つ目に、国や地方自治体の各種行政委員会等への委員等としての参画です。一般行政から教育行政まで、各種行政計画や方針の策定等に携わっています。</p> <p>2つ目は、自治体や団体が実施される研修会等の講師です。自治体職員向けや、企業向けの専門的な研修から、一般市民向けの講演までTP0に応じた講演を実施しています。</p> <p>3つ目は、自治体や団体が実施される研究会やワークショップ、フォーラム等の座長、コーディネーター、ファシリテーター、メンターとしての参画です。</p> <p>4つ目は、自らが大学としての「学」の役割を踏まえて事業を主催あるいは共催するものです。「淡海公民連携研究フォーラム」や「地域ブランド戦略フォーラム」など産官学金のネットワークの構築、「滋賀大学地域活性化プランナー学び直し塾」や「近江八幡市未来づくりキャンパス」などの地域人材育成システムの企画・運営により、地域経済の活性化、地域人材の育成に取り組んでいます。</p>
吉田 敦也	よしだ あつや	徳島大学 地域創生センター	<p>取組内容</p> <p>徳島大学フューチャーセンターA. BAディレクター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フューチャーセンターの構築運用、デザイン思考ワークショップ、イノベーション創出、人材育成</li> <li>上勝自然学校「もりのて」統括ディレクター</li> <li>・「場」を基礎にした学びのプログラム開発、地域/国際連携による実践、子育て支援への応用</li> </ul> <p>NPO法人いきいきネットとくしま理事長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニアICTリテラシー形成支援活動、会員約260名</li> <li>総務省事業「とくったー」プロジェクトリーダー</li> <li>・スマートフォンとツイッターによる高齢者の見守りシステムの開発と実践</li> </ul>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
吉富 慎作	よしとみ しんさく	特定非営利活動法人 土佐山アカデミー	<p>■特定非営利活動法人土佐山アカデミーの取組み</p> <p>土佐山アカデミーは「次の100年のために、新たな出会いやアイデアを生み出す学びの場づくり」というミッションを掲げ、5つの事業ドメインを展開し、年間を通して開催している短期・長期ワークショップや研修には事業開始から延べ9,800人以上が受講しています。</p> <p>【TOSAYAMA ACADEMY（循環型の生活を地域の方から学ぶワークショップ群）】は、日帰りから3ヶ月滞在型プログラムまで、地域の課題を資源と捉え、それに基づいた年間12本以上のワークショップを展開。</p> <p>【土佐山ワークステイ（中長期滞在支援サービス）】都会の方に「家を貸し、車を貸し、コネを提供する」土佐山に滞在し、土佐山のための仕事をする方へのプログラム。</p> <p>【EDGE CAMP（中山間地域特化型起業家養成プログラム）】「雇用がないだけで、仕事はある」。地域での仕事の作り方を6ヶ月間かけて仲間と共に学んでいくものであり、日本財団より補助を得て実施している。</p> <p>【TOSAYAMA Creative Camp（企業・団体研修）】平成27年から実施。地域の課題を研修教材へと編集し、地域おこし協力隊の研修のみならず、高知県庁、大手企業本社等からの人材育成研修を行っている。</p> <p>【コンサルティング サービス】企業の事業企画、他地域の地域づくり、交流人口増加のためのコンサルティングや行政の委託事業受注等。</p> <p>■受賞歴 2014年環境省グッドライフアワード 環境と学び特別賞 2016年農林水産省 オーライニッポン大賞受賞</p>